

ネイルで全国大会へ

障害者が仕事の技能を競う「アヒリンピック」で、新種目「ネイル施術」に、リフォーム会社、新生ホームサービス(中央区)の藤本侑奈さん(23)が兵庫県代表として全国大会に出場する。平日のレッスンにも快く送り出すなど職場も一丸となって支援。藤本さんは「持てる力を発揮して、良い結果を報告したい」と意気込んでいる。

(10面参照)

障害者の技能向上へ 職場一丸で支援

アヒリンピックは、障害者の技能向上と雇用促進を図るため、独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構が主催。電子機器組み立てや表計算など23の競技種目がある。

ネイル施術は、50分以内に爪を整えて色付けする「ペーシックマニキュア」と、テープに合わせたデザインを施す「ネイルチップアート」の二つの課題に取り組む。今年は11月15日から3日間、愛知県で全国大会が開催される。

藤本さんは脳性まひの影響で、生まれつき右半身に障害がある。長時間歩き続けることが難しいことから、現在は車いすで生活し、同社営業担当者の出勤管理などを担当する。

もともとおしゃべりが好きで、ネイルは高校生の頃、インターネットなどで調べて見よう見まねで始めた。今年6月、障害者支援団体から「アヒリンピック」に挑戦してみないか」と誘われ、同団体が主

右半身に障害 藤本さん「良い結果報告したい」



「ネイルをすると誰でも気分が上がる」と目を輝かせる新生ホームサービスの藤本侑奈さん＝中央区御幸通8

催する教室で月に2回のレッスンを受けて本格的に学び始めた。

左利きの藤本さんは、右手で相手の指を支えるが、指先が力が入らなかつたり、うまく動かせなかつたりするた

め、最初は指導通りに施術できなかつた。そこで手首の角度を変えたり、他の指で支えたりするなど試行錯誤を重ねて技術を習得した。

職場では昼休みに上司の爪を借りて訓練。自宅では長い時で3時間以上、練習に没頭することもあったという。制限時間内での施術の可否が課題といい、ネイルサロンに通ってネイリストの所作を観察するなど努力を重ねる。

藤本さんは「ネイルが完成した時に相手が喜んでくれるのが何よりうれしい。職場の応援を胸に頑張りたい」と話している。(中務庸子)

長田の男性変死

22日午後11時ごろ、長田区西丸山町2の路上で、アルバイト男性(40)が「知人の男性が急に体調を崩した」と近くの飲食店を通じて119番した。男性は病院に搬送されたが、23日未明に死亡した。

長田署によると、死亡した男性は近くに住む60代とみられる。アルバイト男性は元同僚で、2人は22日夜一緒に食事していたという。遺体には外傷があったといい、同署は死因を詳しく調べ、アルバイト男性から任意で事情を聴いている。

立体駐車場で 作業員が死亡

東灘 23日午前10時半ごろ、東灘区住吉宮町4の機械式立

当直医

(市外局番は078)

24日 急病診療所Ⅱ内科

(21~23時40分) 中央区橋通

4番341・2313▽小児科

(19時半~翌6時半) 神戸

ことも初期急病センター

91・3999

◇入院・手術が必要なとき

【内科】神鋼記念(中央区臨